

医療・福祉についての次の記述のうち、正しいものはどれか。

1. 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を表す指標で、2024年12月に公表された2022年の健康寿命は2019年と比較して、男女ともに大幅に短縮した。
2. 2025年度は、6年に1度の医療・介護・障害福祉サービスの3つの報酬が同時に改定される年次にあたり、医師の働き方改革や、医療DXの推進などに焦点が置かれている。
3. 出産費用について、2025年4月より従来の異常分娩のみならず、正常分娩についても公的医療保険の対象となった。
4. マイナ保険証とは、マイナンバーカードを健康保険証として新たに利用登録したもので、2024年12月2日以降、従来の健康保険証は発行されなくなった。
5. フレイルとは、要介護状態に至ってから長期間回復状態が見られない状態であり、様々な障害が併発し、自立障害や死亡を含むハイリスク状態の前段階として位置づけられている。

警察官採用試験
I類及び武道・体育I類

教養試験

出題分野 社会一般

正答番号 4

濃度25%の食塩水400gが入った容器Aと、濃度が分からない食塩水500gが入った容器Bがある。いま、容器Aから200gを容器Bに移し、よく攪拌してから300gを容器Aに戻したら、容器Aの濃度が22%に薄まってしまった。このとき、初めに容器Bに入っていた食塩水の濃度は何%だったか。

1. 12%
2. 14%
3. 16%
4. 18%
5. 20%

警察官採用試験
I類及び武道・体育I類

教養試験

出題分野 数的推理

正答番号 4

大人3人と子ども3人が1隻のボートを使って、船着場から対岸に渡る。ボートは小さいので、大人が乗る場合は1人まで、子どもが乗る場合は2人までしか乗れない、また、大人と子どもと一緒に乗ることはできない。

船着場から対岸まで、対岸から船着場までの移動をそれぞれ1回と数えるとき、最小で何回の移動で、全員が船着場から対岸に移動することができるか。ただし、最初ボートは船着場にあり、全員が渡り終えたとき、ボートは対岸にある。

1. 11回
2. 12回
3. 13回
4. 14回
5. 15回

**警察官採用試験
I類及び武道・体育I類**

教養試験

出題分野 判断推理

正答番号 5